

2015年1月

## 生活とミッション 生命活動と使命

浅野良裕

新年おめでとうございます。しばらくご無沙汰していました。

このコラムは、2005年の5月「経営と会計①」のタイトルで書き始めました。「会計を経営に活かす」このテーマからも推測されるように、当初は事務所の**職員教育用の内容**を、経営者、経理担当者、その他一般の方々向けに表現したものでした。そして職員がこのコラムの内容をお客様の企業に適用・応用したり、話題にしたりすることで、**会計や経営の実践的な能力**を伸ばし、また実際に応用することで**企業の業務改善に役立て、サービスの向上**をすることを意図していました。

したがって初期のころのテーマは、会計、税務、経営や仕事の方法等に関することが多かったと思います。しかし毎月テーマを考える時、劇的に変化する世界の状況を見捨てるわけにはいかず、また経営を考えることは究極的には、人間・人々を考えることであり、また変革に時代には特に世界観・宇宙観が重要であるため、このコラムの内容も少しずつ変化していきました。

コラムを書くにあたって大切にしてきたことは、世間で言われていることに、**一つでも新しい視点を提供する**ということでした。新しい視点を一つ加えることで、次元が上昇するように世界の見方が変わるのではないかという想いからです。

今回のテーマは「生活とミッション」「生命活動と使命」です。

最近、仕事の上で「ミッション」という言葉がよく使われます。ミッションとは、通常個人やグループの、**役割、使命、任務等**を意味します。仕事をやり遂げる上で、自分の役割を常に考え実行していけば、ただ単に言われたことをするよりは、成功する確率はより高いものになることでしょう。

また生活は、通常仕事と対比して使われることが多いようです。生活のための仕事、ワーク・ライフ・バランス等。しかし生活を、生命活動として捉えると別の側面が現れてきます。**生命体としての生きている活動全体**。したがって仕事も、趣味も、家事も人間関係自然との関係も、呼吸、食事、歩く、運動すべて含まれてきます。

生活・生命活動を大切にすることは、**一瞬一瞬の呼吸、体の動き、心の動き、食事のとり方、人間関係、そして自分との関係等をすべて大切なかけがえのないもの**として生きていくことです。

ミッションには使命と言う意味もありました。使命を「**命を使う**」と言う意味で捉える時、これは生命活動・生活と同じ意味になります。どのように命を使うか？これが生活の質を決めます。そして生活は自然環境だけでなく、世界経済、世界中の人々と結びつき、人々の仕事の成果に依存しています。

使命はまた、**個体としての自己本来の生きている意味・役割・本質**を意味します。このために生きてきた、生まれてきたと思える時、それは**至上の喜びを感じる瞬間**。そしてこの意味での使命は、**一日一日を大切に生きていく時、自然に見つかる**ことでしょう。